

予算決算委員会総務政策分科会会議録

招 集

令和7年6月30日（月）午前10時 議会委員会室

出席委員（9名）

（分科会長）塚 田 佳 充 （副分科会長）安 達 卓 是
岩 崎 康 朗 大 下 哲 治 奥 岩 浩 基 徳 田 博 文
土 光 均 戸 田 隆 次 森 田 悟 史

欠席委員（0名）

説明のため出席した者

伊澤副市長

【総務部】藤岡部長 松本防災安全監

〔秘書広報課〕幸本課長

〔総務管財課〕角課長

〔防災安全課〕山花課長 高田危機管理室長

〔調査課〕泉原課長

〔職員課〕楠課長 久保課長補佐兼人事・給与担当課長補佐

〔財政課〕金川課長 中村総括主計員 中村主計員

〔契約検査課〕足立課長

〔営繕課〕前田次長兼課長

【DX推進監】堀口DX推進監

〔情報政策課〕最上次長兼課長 福留課長補佐兼情報政策担当課長補佐
影山地域情報化推進担当課長補佐

【総合政策部】佐々木部長 松本人権政策監兼人権政策課長

〔総合政策課〕中本次長兼課長 松本総合戦略室長

〔都市創造課〕赤井課長 石原課長補佐兼都市計画・政策担当課長補佐

〔交通政策課〕倉本課長 戸崎係長

〔まちづくり企画課〕斎木課長 上場まちづくり企画担当課長補佐

〔地域振興課〕田中課長 景山課長補佐兼地域活動担当課長補佐

【淀江振興本部・淀江支所】山浦本部長兼支所長

〔淀江振興課〕堀口課長 斎藤振興担当課長補佐

〔地域生活課〕小野川課長

【選挙管理委員会】松竹事務局長 吉持局長補佐

出席した事務局職員

毛利局長 田村次長 坂本議事調査担当係長

傍 聴 者

稲田議員 今城議員 岡田議員 門脇議員 錦織議員 又野議員 松田議員

矢田貝議員 吉岡議員

報道関係者2人 一般3人

審査事件

議案第54号 専決処分について（令和7年度米子市一般会計補正予算（補正第1回））
議案第62号 令和7年度米子市一般会計補正予算（補正第2回）のうち当分科会所管部分

〜〜

午前10時02分 開会

○塚田分科会長 予算決算委員会総務政策分科会を開会いたします。

本日は、6月26日の本会議で予算決算委員会に付託された議案のうち、当分科会の審査担当とされました議案2件について審査いたします。

議案第62号、令和7年度米子市一般会計補正予算（補正第2回）のうち総合政策部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

中本総合政策部次長。

○中本総合政策部次長兼総合政策課長 議案第62号、令和7年度米子市一般会計補正予算（補正第2回）のうち総合政策部、DX推進監及び淀江支所所管部分の歳出予算の事業の概要等について御説明いたします。

予算説明資料、令和7年度6月補正予算歳出予算の事業の概要を御覧ください。2ページ上の段、自主防災組織育成事業として160万円を増額しております。これは、地域防災力の向上を図るため、自主防災組織等が行う防災資機材整備に対して補助金を交付しようとするものでございます。

次に、2ページ下の段、支所庁舎管理事業として1,360万円を増額しております。これは、淀江支所庁舎の冷房設備の冷却塔で複数箇所の水漏れが確認され、改修工事を行うものでございます。

続きまして、3ページ下の段、次世代人材を育むふるさと教育推進事業として184万4,000円を計上しております。これは、新米子市発足20周年を記念して、各中学校のふるさと教育の取組と連携し、米子の未来を担う若者が考えた未来につながるアイデアを広く市民に披露する発表会を開催するものでございます。

次に、4ページ上の段、路線再編推進事業として1,282万8,000円を増額しております。これは、住民の生活交通を確保するため、箕蚊屋地区における巡回型コミュニティバスの実証運行を委託によって実施するものでございます。

次に、4ページ下の段、淀江駅周辺活性化事業として554万6,000円を計上しております。これは、JR淀江駅のトイレ及び駅舎の一体的な整備をJR西日本との協力により実施するもので、設計等の費用を計上しております。

続きまして、5ページ上の段、新たな住民自治によるまちづくり推進事業として500万円を増額しております。これは、美保中学校区の崎津、和田、大篠津の3つの地区における共同した取組や、住民を主体とした支え合いによる共助のまちづくりのモデル構築を図るため、現地に専任の地域活動支援員を配置しようとするものでございます。

次に、5ページ下の段、自動運転レベル4実装を目指した公共交通モデル実証事業として3億7,500万円を計上しております。このたび国の補助事業の重点支援事業として採

扱われたことから、バスの運転手不足や交通事故の削減など、公共交通を取り巻く環境改善を図るため、先進的に自動運転バスの実証運行を行うもので、今年度は運転手が乗車した状態で自動運転を行うレベル２での運行を予定しております。

続きまして、６ページ上の段、東山公園駅改修事業として１，７６２万２，０００円を計上しております。これは、ＪＲ東山公園駅の利用者の安全性、利便性の向上を図るとともに、令和９年に予定している米子アリーナの供用開始による利用者の増加に対応するため、上り、下り両ホームに直接出入りできるスロープを設置しようとするもので、調査、設計、測量の費用を計上しております。

次に、７ページ上の段、コミュニティ組織支援事業として５００万円を計上しております。これは、自治会等コミュニティ組織の活動支援として備品等の整備を行う自治会に補助金を交付しようとするものです。

ページ飛びまして、通知しました１７ページ上の段、米子駅周辺まちなかウォークアブル推進事業として５，７８９万６，０００円を増額しております。これは、居心地がよく歩いて楽しい環境づくりやにぎわいの創出を図るため、歩行者優先の空間整備等に向けた実証実験を実施するとともに、市民及び民間事業者と連携しながら、米子駅周辺のまちづくりにつながる基本構想を策定するものでございます。

次に、１７ページ下の段、米子港・城下町周辺地区まちづくり基本設計策定事業として５２０万２，０００円を計上しております。これは、米子港・城下町周辺地域のまちづくりに向けて、官民連携によるにぎわいの創出や、山陰歴史館などを含めたエリアの将来像を示すため計画を策定しようとするものでございます。

次に、１８ページ上の段、湊山公園周辺共創まちづくり事業として３６１万８，０００円を計上しております。これは、鳥取大学医学部附属病院の再整備に連動した湊山公園再整備に向けて、湊山公園一体のまちづくりを視野に入れながら、広く市民の意見を聞き、エリアの将来像を描くためのワークショップを開催しようとするものでございます。

説明につきましては以上でございます。

○塚田分科会長 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

徳田委員。

○徳田委員 すみません、私は、資料３ページの下段なんですけども、次世代人材を育むふるさと教育推進事業ということで、そもそも、２点お聞きしたいんですが、ふるさと教育そのものの狙いといいますか、それは、主に２つ上げていただければと思うんですが、どういったところにあるのかなということと、２０周年を記念してということですので、今までのふるさと教育の連携だとかいろんな発表スタイルが、また変わってこようかと思うんですが、今想定していらっしゃる発表会っていいですか、そのスタイルはどのように２０周年を期して変わるのかという、以上、２点ちょっとお伺いしたいと思います。

○塚田分科会長 中本総合政策部次長。

○中本総合政策部次長兼総合政策課長 ふるさと教育の目的の質問からお答えさせていただきますが、まずは、特に若い世代の方々に対しまして、地域を愛していただいて、将来、この米子のすばらしい土地でまた生活いただきたいというところで、米子のよさをいろいろな事業の中で教育で取り組んでいただいて、感じていただくということが、まず大

きな目的でございます。あとは、それをこういう形で様々な発信をして、市民の、いわゆる愛着の醸成だとか、そういうものも、ともに目的として持っているところでございます。

20周年を機にということでの質問でございますが、こちら、今回初めての試みでございますが、こちらは、今度、いわゆる成功体験という形も酌みまして、様々なふるさと教育でも、いろいろな学校さん今頑張ってるんですけども、その成果を発表して、それで成功体験。これを、20周年を機に、今後、今回やらせてもらいました教育委員会とも連携して、次どういう形で進んでいこうかということを考えている次第と、その発表ですね、先ほどにも共通するんですけども、市民の多くの方にそういう子どもたちの発表の場を見ていただいて、子どもたちだけじゃなくて、市民の皆様も、米子にとっての、米子のすばらしさというところを一緒に感じていただければというふうに思っているところでございます。

○塚田分科会長 徳田委員。

○徳田委員 分かりました。ありがとうございます。

○塚田分科会長 よろしいですか。

岩崎委員。

○岩崎委員 17ページの米子港・城下町周辺のまちづくり、こういう……。

○塚田分科会長 岩崎委員、ボタンを。

○岩崎委員 すみません、17ページの米子港・城下町周辺まちづくり基本設計策定事業、これについてですが、内容としましては、まちづくり計画策定の業務委託となっております。この委託先について教えていただけませんか。

○塚田分科会長 赤井都市創造課長。

○赤井都市創造課長 先ほど、委託先についてですけども、こちらについては、まだ具体の業者さんというのは決まっておりませんで、これから入札をかける予定としておりまして、基本的にはコンサルタントのほうを予定しております。以上です。

○塚田分科会長 岩崎委員。

○岩崎委員 この範囲なんですけど、米子港・城下町周辺地域、山陰歴史館を含めてとなっておりますが、今、県なんかが中心になってやってるベイエリアとか、あの辺も含めてっていう感じなんでしょうか、どうでしょうか。

○塚田分科会長 赤井都市創造課長。

○赤井都市創造課長 委員のおっしゃるとおり、ベイエリア、米子港ですね、こういったものを含めたエリアになっております。以上です。

○塚田分科会長 岩崎委員。

○岩崎委員 これ、意見ですけど、本会議でもいろいろ申し上げておりますが、ここの全体的な構想、しっかりと計画策定されるということですので、期待して見届けたいと思います。

次にいいですか。

○塚田分科会長 はい、どうぞ。

○岩崎委員 5ページを、すみません。自動運転のレベル4実証事業の、これも内容で、協議会への負担金3億7,500万円となっておりますが、協議会、この協議会について教えていただけませんか。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 自動運転の関係の協議会についてでございます。協議会につきましては、これから、実は立ち上げる予定にしております。詳しくは後ほど報告もさせていただきますけれども、米子市レベル4自動運転実装推進協議会ということで、米子市と日の丸さん、日交さん、あと、鳥取県、中国運輸局を含めました協議会を、これから、予算をお認めいただいた後に立ち上げたいと思っておりますので、そのメンバーで事業を推進していく予定でございます。

○岩崎委員 委員長、続いて。

○塚田分科会長 岩崎委員。

○岩崎委員 これは、レベル4を実装を目指しということですので、いろいろ、例えばルートの方策とか、レベル2を実践してみて、何回か段階を踏んでやってみるとか、そういうイメージでよろしかったでしょうか。

○塚田委員長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 この実証運行につきましては、実証運行しながら、段階的にレベル4の実装を目指していく取組でございますので、そのイメージで合っていると。

○岩崎委員 はい、分かりました。いいです。

○塚田分科会長 よろしいですか。

ほかにございませんか。

森田委員。

○森田委員 幾つかあるので、さくさくっと聞かせていただきたいと思いますけれども、まず、3ページの下段の次世代人材を育むふるさと教育推進事業というところで、もう少し具体的なイメージが湧くとありがたいなと思ったので、現時点で決まっている詳細な情報等がもしあれば、そこについて、まず伺っておきたいと思います。

○塚田分科会長 中本総合政策部次長。

○中本総合政策部次長兼総合政策課長 具体的な内容でございますが、各学校、公立学校11校、私立北斗中学校さんにも参加いただきまして、12校によりまして、1日で、いわゆる、ふるさと教育の発表会を開催する予定でございます。各学校の代表の1チームを大体10分程度発表いただいて、それを学校に、さらに、中海テレビさんとかで配信させていただきまして、生徒も授業の中で時間を使いまして、見れる学校はそちらの配信画像も見ていただくと。後には、それをさらに編集いたしまして、中海テレビ放送のほうで20回程度それを放送として放映するという形で、今のところ計画を考えているところでございます。

○塚田分科会長 森田委員。

○森田委員 ありがとうございます。発表の場があるのは非常にいいことだなと思っておりますので、いい取組だなというふうに思っております。

それで、こういったことを生徒さんがやっておられるということが外に出るので、いろんな方に見ていただくのがすごくいいかなと思っておりまして、それを踏まえて、地域であったり地元企業さんが、こういうこと私たちできそうですみたいなことになるとすごくいいかなと思っておりますので、その後のアプローチも併せて考えていただければと思いますので、よろしくお願いします。

続きまして、じゃあ、5ページの上段の新たな住民自治によるまちづくり推進事業のところで、この概要として、支え合いによる共助のまちづくりのモデル構築を図るというふうにあるんですけれども、具体的にどういったイメージなのかを教えてくださいませんか、よろしくお願いします。

○塚田分科会長 田中地域振興課長。

○田中地域振興課長 新たな住民自治によるまちづくり推進事業での、共助のまちづくりのモデル構築というところでございますが、現在でも米子市内29地区ございますが、一部の地区では、その地区地区の課題に対して住民の方々が主体となって課題に取り組むといった動きが見受けられます。それを、今回の事業においては、複数地区が共同した形でその地域の課題、悩み事、具体的なイメージとしては、生活支援的なことになろうかと思っておりますけれども、そうしたことを共助というところで行っていただく、そういった体制づくり、事業のモデルづくりということを図るものでございます。以上です。

○塚田分科会長 森田委員。

○森田委員 活動支援員さんを配置して行っていただくということですので、そのイメージがしっかりと共有できるようにしておかないとなかなか成果が出しにくいかなと思うので、そこについてお願いしておきたいと思います。

ページが飛びまして、17ページの上段、米子駅周辺まちなかウォーカブル推進事業というところで、駅前通りの実証実験に係る経費で3,800万円強で予算を上げていただいております。こちらの中身についてもう少し詳細を伺えたらと思いますので、よろしくお願いします。

○塚田分科会長 赤井都市創造課長。

○赤井都市創造課長 駅前通りの実証実験の中身についてですけども、今年度につきましては、より恒常的な形にしたいというふうに思っております。前回、昨年度につきましては、金曜の夜、あるいは土日の約3日間でしたけども、平日を含めた日数で行ってみたいというふうに思っております。また区間についても、昨年度、各上り下りと言えいいですかね、各ワンブロックずつでしたけども、さらに、それ以上の区間を使って実証実験をしたいというふうに思っております。また併せて、昨年度、渋滞あるいは交通ネットワークの話がございましたので、そういったところについて交通量調査等をして、交通ネットワーク、こういったものの検証であったり、交通量の分散を図ってみたいというふうに考えております。

さらに、昨年度の課題、もう一つありまして、沿道との事業者様との巻き込みということがございました。こういったことも踏まえまして、今年度、さらに沿道事業者様、あるいは周辺の関係者様、そういったところと何かしらの、実行委員会形式なのか、そういった何かしらの協議体をつくりまして、実証実験のほうを進めていきたいというふうに思っております。以上です。

○塚田分科会長 森田委員。

○森田委員 期間を延ばすというところで、いろいろ昨年の反省点も踏まえながらやっていただくというところで、こちら委託をする予定だと思うんですけれども、そこが、委託先がどういったところなのか、去年と同じところなのかどうか、伺っておきたいと思えます。

○塚田分科会長 赤井都市創造課長。

○赤井都市創造課長 この実証実験に係る委託先でございますけども、この予算お認めいただきましたら、昨年度もでしたけれども、プロポーザルという形でコンサルタント会社、設計会社ですね、そういったところへの発注を検討しているところでございます。以上です。

○塚田分科会長 森田委員。

○森田委員 分かりました。地元の企業さんにも積極的に参加いただけるようにしていただきたいというふうに思っております。

続いて、18ページ上段の湊山公園周辺共創まちづくり事業というところで、このワークショップに係る経費で、結構、ワークショップにこれだけかかるのかなというところが、思ってしまうところがあるんですけれども、具体的な内容であったりとかを、もう少し詳細を伺いたいと思います。

○塚田分科会長 赤井都市創造課長。

○赤井都市創造課長 このワークショップに係る経費についての内容についてですけども、このワークショップについては、今、これも委託を考えているところでございます。そして、ワークショップにつきましては、大体今3回を考えておりまして、この経費の中には、そのほか、会場の借りるお金だったり、そういったものも含めての予算となっております。以上です。

○塚田分科会長 森田委員。

○森田委員 3回で360万円なんで、1回120万円ぐらいかかるというところなので、何か、非常に高いなというところを思ってしまったところがあるんですけれども、具体的にどういった方に参加してもらうことを想定して、どれぐらいの人数を集めていくみたいなところも、もしあれば伺いたいと思います。

○塚田分科会長 赤井都市創造課長。

○赤井都市創造課長 すみません、先ほどの少し補足になりますけども、まず最初に、ワークショップ3回と言いましたけれども、成果として、これに基づくイメージ、そういった絵ですね、そういったものも作成していくというところで、ワークショップを3回するためのお金だけではないというふうに思っていたければと思います。

あと、対象等についてですけども、まだ具体の数字というのは、あくまでもちょっと想定とさせていただければと思いますけども、今のところ、大体30人とか40人程度を考えているところではございますし、また、今、湊山公園を使われてる方をメインといたしまして、そのほか周辺の市民の方々であったり、また、広く一般の市民の方も公募をかけた形で参加いただければというふうに考えております。以上です。

○塚田分科会長 森田委員。

○森田委員 ワークショッププラスそれを基にパース図みたいなものを作成する費用も含まれてるみたいな認識でよかったですかね。

○塚田分科会長 赤井都市創造課長。

○赤井都市創造課長 森田委員のおっしゃるとおりです。

○森田委員 分かりました。

○塚田分科会長 ほかがございませんか。

安達委員。

○**安達委員** ちょっと重なるかもしれませんが、自分の意見として聞かせてください。

5 ページ上段ですが、新たな住民自治によるまちづくりの推進事業ですが、このところで、聞き漏らしたかもしれませんが、市の米子市住民自治基本条例、この条例と重なる部分っていうですか、この条例の精神をどのように反映させたものか、あれば教えてもらえますか。

○**塚田分科会長** 田中地域振興課長。

○**田中地域振興課長** 具体的に落とし込んだという意味合いではございませんけれども、市民自治基本条例自体が、市民の皆さんが一人一人まちづくりの主体となって地域に関わっていく、地域活動に取り組んでいくということがうたってございます。そうした考えの延長上にある事業であるということは間違いなからうかと思います。以上です。

○**塚田分科会長** 安達委員。

○**安達委員** それと、説明のところであったと思うんですが、地区によって連担した考え方を取り込みたい的なことを言われたように思うんですが、3つの地域、例えば、3つに分けた場合に、それぞれの地域に関わる部分として、持ってる、地域がもともと備えている、そういった地域の特徴っていうのは非常に、隣でありながら違うところもあると思うんですが、それをどこまで、融合っていう言葉がいいのかなのかどうか分かりませんが、隣の連担した地域との関わりを広めていこうとするのか、そのところが少し聞き漏らしたように思うので、教えてもらえますか。

○**塚田分科会長** 田中地域振興課長。

○**田中地域振興課長** 本事業、まだスタートしておりませんので、どこまで具体的にいうことはちょっとお答えがし難い部分はございますが、それぞれの地域の地域性、風土、土壌といったものがございますので、そうしたところから出てくる地域課題、共通するものについては共有をしながら進めていくということになりましょうし、各地域性、独自性があるものについては、それをいかに、情報共有ですとか、認識の共有を図っていけるかというのも、この事業の中で一つモデル的に取り組まないといけない内容かなというふうに思います。以上です。

○**塚田分科会長** 安達委員。

○**安達委員** ちょっと後半の部分があんまりきっちり聞こえにくかったんですが、そのところが非常に肝な部分、自分は思ったところでして、言いたいのは、それぞれの3つの地域を取り込もうとしたときに、3つの地域にそれぞれ歴史とか地勢とかがあって、なかなかお互いが手を組むというところが、十分、今まではなかったように思っていて、それを、これからだと課長が今言われましたけれども、そこを十分取り込んでいただきたいなという思いが強くなりました。ということと同時に、地域には、それぞれの歴史もありますし、一番あるのは、例えば大篠津町でしたら、インフラで公共下水がきっちり備わっているわけですが、和田とか崎津とかは、例えば、公共インフラの中の公共下水はないというところは非常に気になるところでして、そこをどのように融合、融和させていくのか、これからだと言われますので、そこは期待したいと思います。以上です。

○**塚田委員長** ほかがございますか。

土光委員。

○土光委員 まず、先ほどの森田委員の質問で、だから、何ページ、18ページの上段のやつかな、その360万円で、内訳というか、何にどういう費用がかかるのかというやり取りで、ちょっと聞いててやっぱり分からないので、答弁としては、3回分のワークショップをする、それだけではなくて、何かこう、それをまとめるようなイメージ、パース図と、そんなのを作るというふうに聞いたんですが、もしそうだとすると、じゃあ、360万円のうち3回分のワークショップは幾ら、それから、それをまとめて何らかのイメージ図を作るのが幾ら、それぞれ、どのくらい考えているのか。

それから、1回分のワークショップで100万円ぐらいかかるような感じがするのですが、ワークショップ、ちょっとどういう、ワークショップのイメージが分からないままで聞いてますが、どういうものにお金がかかるものかというのを説明ください。

○塚田分科会長 赤井都市創造課長。

○赤井都市創造課長 この予算計上をしております、まず内訳ですけれども、まず、需用費につきましては20万2,000円を上げているところがございます、こちらについては、ポスター等の広報するための印刷費等を計上させてもらっております。また、使用料及び賃借料につきましては、会場使用料として10万9,000円を計上しております。また、委託料については328万9,000円というふうになっておりまして、基本的には、この委託については、先ほど言ったように、ワークショップを3回を想定しているところがございますけれども、ここの中で委託される、例えば、ワークショップで使います資料の作成であったり、あと、ワークショップ当日の司会全体のコーディネーターをしていただくお金、あと、各グループに入っていただいて、そこをまとめていただいたり、そういったところがございます。さらに、最後取りまとめ、絵を描いたり、出た意見等をまとめる、そういったところに委託料が入っております。以上が内訳になります。以上です。

○塚田分科会長 土光委員。

○土光委員 つまり、最初、ワークショップを3回、それだけではなくて、それをまとめるような何らかのイメージをつくるというふうに言われたんですが、この委託料の中には、そういうワークショップ3回分と、それから、それをまとめるようなこと、それをすることということも含んだ額が320万円なんですね。

○塚田分科会長 赤井都市創造課長。

○赤井都市創造課長 土光委員のおっしゃるとおりです。

○塚田分科会長 土光委員。

○土光委員 この中には会場費は入っていないですね、別建てであるので。だから、要は、多分1回当たり100万円ちょっとだけど、主な内訳は、資料作成と、それから人件費というか、いろいろ、当日いろんな司会とか運営をやってもらうから、そういう人件費が大部分を占めてると思っていいんでしょうか。

○塚田分科会長 赤井都市創造課長。

○赤井都市創造課長 言われるとおり、そこでの人件費が大部分を占めているというふうに思っております。

○塚田分科会長 土光委員。

○土光委員 これは分かればいいです。320万円か、330万円だな、資料作成等、これ、広報の資料は別建てだから、ワークショップをする、運営するための資料だと思い

ます。資料と、それから、いわゆる人件費、それぞれ大体どのぐらいですか。

○塚田分科会長 赤井都市創造課長。

○赤井都市創造課長 内訳といたしましては、基本的には、資料作成であったり、当日の運営についても人件費として上がっておりますので、そこに必要な人件費分が計上してあります。以上です。

○塚田分科会長 土光委員。

○土光委員 分かりました。特に内訳とかは、込みでの額だということですね。

ほか、いいですか。

○塚田分科会長 いいですよ。

○土光委員 それから、別のところで、5ページ、淀江駅舎の改修に関してお聞きします。5ページ、違うな、4ページだ、4ページです。

これ、淀江駅の駅舎の改修、これは、今はトイレが別建物になってるけど、それを一つにする。それから、駅舎自身の改修は、ホームで階段とかそういった、老朽化だから修理を、そこを更新するというふうな、それも駅舎の、駅舎か、それ、駅舎と言わないかどうか分からないけど。だから、聞きたいのは、今回の設計業務、駅舎ということは、トイレを一体化した駅舎をするための部分の設計費というふうに思っていますか。つまり、淀江駅自身のホームの階段とかの改修、それはこの中には入っていない。そういった駅舎部分だけというふうに思っていますか。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 土光委員のおっしゃるとおりで、これは駅舎の部分だけの設計費用になります。それで、跨線橋ですとか、それ以外、JRさんがされるところについては含まれておりません。

○塚田分科会長 土光委員。

○土光委員 つまり、今回の考え方は、駅舎に関しては米子市が、トイレも一体化するというのもあって、米子市が全て設計業務、それから、実際の改修費も米子市が全額出すという前提で進むんですか。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 これについては、米子市とJRと連携してやる事業ということは、以前報告させていただいたと思っております。

それで、費用につきましては、これから、この設計終わりましたら事業費のほうに固まっていりますので、JRと役割分担ですね、負担も含めた役割分担を協議して決定してまいりますので、応分の負担というのは、JRさんのほうにも求めていく予定でございます。

○塚田分科会長 土光委員。

○土光委員 分かりました。実際の建設の費用は、実情に応じて協議して、それぞれ応分の負担をする。設計に関しては、これは全部米子市が負担なんですか。それとも、この額は、JRも幾らか出して、米子市の負担分という意味ですか、どちらでしょうか。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 この設計費の負担につきましても、今後の固まってくるであろう事業費と、それと含めての協議になってこようかなと思います。一旦は、米子市のほうで設

計は今回発注させてもらいますけども。分かりますでしょうか。

○塚田分科会長 土光委員。

○土光委員 つまり、今の答弁は、今回の駅舎を改修するための設計業務、これは、この予算、これは全額米子市が出すと。ただ、最終的に駅舎を改修するため、これは実際の建設費とか設計費も入っているから、それを含めて応分な負担は別途協議する、そういう考え方だということでもいいですか。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 今委員がおっしゃったお考えで問題ございません。

○塚田分科会長 ほかがございますか。

大下委員。

○大下委員 土光委員に続いての、淀江の駅の改修工事についてお聞きしたいんですけど、このアスベストの調査の費用なんですけど、これ、55万円って入ってますけど、これはどういった内容なんでしょう。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 このアスベストの調査費用については、今現在市が所有しておるトイレのアスベスト調査に係る費用でございます。それで、これが、積算上は、検体を10個、10か所取るということで積算しております。1か所当たり約5万円ということで。大体、単価が3万円から5万円ぐらい1か所かかるというふうに聞いておりますので、10か所分ということでございます。

○塚田分科会長 大下委員。

○大下委員 トイレの大きさなんですけど、大体、自分も使ったことがあるんですけど、そんなに大きくないんですけど、そんな10か所する必要があるんでしょうか。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 トイレにつきましては、そうですね、この見積りを取る、積算する際には、市のほうでいうと、営繕課のほうにちょっと相談して決めるもので、そこで10か所程度、予算ですのでマックスですので、実際のところはちょっと10か所まで必要ないかもしれませんが、マックスで想定して積算したものでございます。

○塚田分科会長 大下委員。

○大下委員 というのが、私も、民間のほうでアスベストの調査をお願いしたことがあって、そのときに、大体、額がもう1桁、何万円、数万円で済んだっていうのもありますんで、55万円っていうのが本当に妥当な金額なのかっていうのが、ちょっと疑問に思ったんですけど。ちょっと、何かそこら辺、できるだけ抑えて設定していただきたいと思えますんで、よろしくお願いします。

あと、もう1点お聞きしたいんですけど、この解体設計業務ってあるんですけど、これは、解体設計する会社と実施する会社は違うっていうことでよろしかったでしょうか。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 そうですね、設計と実際の解体は、事業者が異なるものというふうに考えております。

○塚田分科会長 大下委員。

○大下委員 ちなみに、この解体っていうのは、トイレの解体ですか。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 これは、市の所有するトイレ部分だけの解体の設計でございます。

○塚田分科会長 大下委員。

○大下委員 実際に、何か、コスト削減のことを考えると、設計業務と解体業務が違うっていうので、それで、またコストも変わってくると思いますし、実際に解体をお願いした会社とかになると、そこで、1社でできると思いますんで、そういったふうに、やっぱりコストのことも考えながらちょっと進めていただきたいと思いますんで、これは意見として伝えておきます。

○塚田分科会長 よろしいですか。

ほかに。

戸田委員。

○戸田委員 17ページの、先ほどから米子港の城下町の周辺地区まちづくりについての委託料が、計画策定が出ておるんですけれども、その中で、今、かわまち事業が遅れが生じておるような状況に私は理解しておるんですけれども、この計画の策定建て、その辺のところの対応方、どのように考えておられますか。

○塚田分科会長 赤井都市創造課長。

○赤井都市創造課長 かわまち広場の整備については、今現状、今年度にかわまちの整備が終わるといふふうに認識しております。この計画については、ですので、今年度、7年度以降、8年度ですね、8年度以降からの整備等の計画について策定するものでございます。以上です。

○戸田委員 理解しました。

○塚田分科会長 戸田委員。

○戸田委員 7ページをお開きください。7ページの今の上段のコミュニティー組織支援事業でありますけれども、博労町2丁目の自治会補助金、今250万円計上されておられます。その中で、滑り台、ブランコの購入等はあるんですけれども、購入に当たってはいいんですが、これからの維持管理費については、市の負担になるんですか。その辺のところをちょっと伺っておきたいと思います。

○塚田分科会長 田中地域振興課長。

○田中地域振興課長 こちら、自治会におけるハード整備に関する補助金ですので、ランニングについては特に補助等ございません。市のほうでもそういった補助制度はなかったというふうに承知しております。ですので、自治会で整備されたものですので、自治会のほうでされるものというふうに承知をしております。以上です。

○塚田分科会長 戸田委員。

○戸田委員 確認ですけれども、自治会が維持管理費を負担するということで理解でいいんですか。

○塚田分科会長 田中地域振興課長。

○田中地域振興課長 これにつきましては、そうした認識でございます。

○戸田委員 了解しました。

○塚田分科会長 ほか。

奥岩委員。

○奥岩委員 すみません、1点お願いします。総合政策部さん担当ということで、交通の補正予算、結構上がってまして、先ほど来からいろいろ議論ございますとおり、この後報告もあるんですけど、自動運転バスがあったりですとか、駅のところの予算も上がってありました。先ほど淀江駅の周辺の分もあったり、これもずっと委員会のほうでも報告を受けてきた案件ですので、いよいよ予算対応していただくということで評価しております。

また、聞きたいのが、6ページの東山公園駅改修事業のところなんですけど、こちらも本会議のほうで質問でいろいろと議論があって、今回ようやくバリアフリー化になるんですかね、スロープ新設ということであるんですけど、こちら見させていただきますと、特に、これから詳細は詰めていかれるということなんですけど、スロープ、今想定される設置の場所といいますか、個数といいますかというのは、1か所、今と同じ方面みたいな認識でいたらよろしいでしょうか。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 これについては、上り側のホームに向けて1か所、下り側のホームに向けて1か所ですので、合わせて2か所設置する方向で今検討しているところでございます。

○塚田分科会長 奥岩委員。

○奥岩委員 理解いたしました。ありがとうございます。

そうしますと、ここの東山公園駅周辺のところは、ウォークブルのところでも周辺の道路整備等々も進んでいきますので、今回の駅のところの、スロープ、まだ工事じゃないんですけど、設計のところからいろいろと考えていかれるっていうところで、全体の活用の仕方も今後検討段階に入るかなと思っておりますので、期待しておりますので、まずは、このバリアフリーのところを頑張っていただきたいと思いますと思います。よろしく申し上げます。以上です。

○塚田分科会長 ほかがございせんか。

岩崎委員。

○岩崎委員 すみません、2週目ですので、ごめんなさい、手短に参りますんで勘弁してください。

4ページです。路線再編推進事業、上段です。これは、箕蚊屋地区のコミュニティーバスってことなので、これの、ちょっとまずはスケジュール感を教えてください。どういう感じで推進していけますでしょうか。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 箕蚊屋の路線再編ということで、スケジュール感についての御質問だったと思います。今回、予算のほうを御提案させてもらっておりますが、実は、予算お認めいただくというのを前提に、以前から地域のほうには御意見を伺うような場面を設けております。この予算をお認めいただいた後は、事業者の選定等を行いまして、今目標として思っておりますのは、秋頃、10月頃、参考にしておるのが、弓ヶ浜地区の路線再編が同じようなスケジュールで10月頃にスタートしましたので、10月を目標として今は進めているところでございます。

○塚田分科会長 岩崎委員。

○岩崎委員 続いて、これ、福祉バスリース料となつてございます。リース契約について

ちょっとお尋ねしたいのですが、だんだんバスとかどんぐりとかは、これも、やっぱりリースだったのか、ちょっと、すみません、定かではなくて、質問がちょっと不安定なんですけども。買取りだったやに自分は思ってるんですけど。これは、なぜリース契約で、また、リース契約の内容等も、もし言われればちょっと教えてもらいたいと思います。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 これが、リース契約としておりますのが、まず、ちょっとだんだんバスのほうですけども、だんだんバスは、市のほうで購入したものを貸し出して、運行のほうを委託するという仕組みを取っております。

この箕蚊屋地区の事業につきましては、車両のほうもお借りしてというやり方を、リースでって考えてるんですけども、これが、実証運行ということもありまして、ここの本格運行に向けて車両そのものの検討もちょっとしたいので、最初から購入してしまうと、もうそこで固まってしまいますので、まずはお借りして、車両のサイズも含めて実証をしてまいりたいと考えておりますので、その考えで、リースという手法を選択しました。

○塚田分科会長 岩崎委員。

○岩崎委員 そうしますと、例えば、今年度は実証実験ということで、秋ぐらいから踏み込んでいかれるということです。次年度がどうなるか、まだまだ定かではないとは思いますが、最終的には車両購入とか、また別途考えていくという考えでよろしいでしょうか。

それと、リース契約ですから、また来年も同じような金額が発生するもんなんですか。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 その車両につきましては、本格運行に向けて、今回の実証実験の結果を踏まえて、車両判断も含めてやっていきますので、当然その中で契約の手法をどういう、買ってやるのがいいのか、リースを継続してやっていくのがいいのかっていうのは、それは、その中で判断してまいりたいと思っております。

○塚田分科会長 岩崎委員。

○岩崎委員 これで質問の最後にします。

本会議でもちょっと聞いたんですが、私は、各地区地区で、弓浜とか南部、箕蚊屋、どんぐりの淀江、そういったもので、巡回バスでやられるっていうことは、方向的にはすごく僕はいいと思ってるんですが、既存の路線バス、それから、質問でも言ったように、今は、右回り、左回りルートなんていうのも走ってます。次から次から新しいルートが出てきておりますので、いずれにしても、赤字路線もずっと継続して赤字補填しているわけですし、どっかでやっぱり、再編の全体計画なりを煮詰めなきゃいけないんだろうな、策定しなきゃいけないんだろうなと思っておりますけども、そこら辺の見解をいただきたいと思います。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 これにつきましては、本会議のほうでもやり取りあったとおりで、委員さんおっしゃるとおりでございまして、市民の方にもよく理解していただくということで、しっかりとした広報、周知というのは必要だと思っておりますので、ここら辺につきましては、議会のほうでも答弁させていただきましたけども、広報紙を使ったりとか、あと、都市創造課のほうでつくっております……。

(発言する者あり)

○塚田分科会長 佐々木総合政策部長。

○佐々木総合政策部長 議場でも御答弁したとおりなんですけど、路線再編、順次進めてきておりまして、恐らく御指摘の趣旨としたら、断続的にあって、全体の、何ていいますか、全体最適みたいな、本当に整ってるのかどうかというところがなかなか伝ってないんじゃないかという御趣旨だと思います。私は今、コミュニティバス中心にいたしまして、再編を今、断続で進めてございます。並行して路線バスの再編も必要になってまいりますので、そこは一体としてこういったバスのネットワークにしていきたいということを、再編計画という形でお示しをしたいと思っております。それが、どういったタイミングで、どういう手法になるのかということは、これから検討させていただきたいと思いますが、議会でも御答弁申し上げましたとおり、例えば、毎年、新商都のまちづくりという形で、一度お示しをしてございます。そういった形がいいのか、あるいは、公共交通計画の会議が再編のたびにございますので、その際にお示しする形がいいのか、この辺りをよく検討してまいりたいと思いますが、いずれにしても、再編計画、よく見える化をする形でお示しをするようにしたいというふうに思っております。

○塚田分科会長 岩崎委員。

○岩崎委員 よく理解しました。結局、今の既存路線でも、やっぱり、かなりこう、存続を、当然地元の方は、地域の方は求めておられる。しかしながら、いろいろ、やっぱり新しい路線も出てきたり、循環で何とかこの地域やってくださいというようなこともありますので、当然、路線廃止があるかもしれませんし、そこら辺のところをしっかりと見える化してもらって、しっかりと市民の方の御理解、御協力をいただくということが大前提だと思いますので、よろしくお願いします。以上です。

○塚田分科会長 ほかにございませんか。

土光委員。

○土光委員 淀江駅舎のことでもうちょっと聞きたいので質問します。

出来上がりのイメージ、今の段階でどこまで確定してるかということでもいいんですが、出来上がりのイメージを知りたいのですが、今は駅舎があって、向かって左にトイレがあって、駅舎を改修してトイレもそこに入れる。そうすると、改修後は、今の駅舎とほぼ同じような建物で、そこにトイレが入るような感じになるのか、もうちょっと、トイレ部分はなくなるはずなので、そこはもうちょっと大きくなるような感じで考えているのか、どういうイメージなんですか。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 改修後のイメージですけども、今検討しておるのは、今ある駅の待合と、隣にトイレという形です。その規模感のお話かなと思うんですけども、今ある、何ていうんでしょう、待合の面積と、今ある米子市の所有しているトイレの面積を大体合わせたサイズ感かなということで、今検討してる感じです。いずれにしても、図面なり、今後できてまいりますので、その際にまた報告をさせていただきたいというふうに考えております。

○塚田分科会長 土光委員。

○土光委員 今の答弁、現在、駅舎があって左にトイレがある。あのトイレ、すごく大き

な建物で、知らない人が見たらどっちが駅舎が分からないぐらい立派な、大きな。そうすると、今の話では、今の駅舎、トイレがあって、それ全体が、つまり駅舎がすごく大きくなるような、そういうふうだというふうにとれたのですが、そういうことなんですか。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 今の駅舎は、待合と、さらに横に、もう今は使っていないんですが、以前は駅員さんが宿泊するような施設があったりもしてますので、その分はなくなりますので、サイズ感としては、今よりかなり大きくなるとか、そういうことはございませんで、面積としては、ぱっと見、今よりばんっと大きくなる感じではないんですが、ちょっとすみません、うまく説明できないんですが、サイズ感としては、今ある駅舎プラスあそこの、さっき言いました、宿泊のためにある設備より若干大きくなる。今、別棟にあるトイレがなくなる格好です。

○塚田分科会長 土光委員。

○土光委員 これから設計業務だということで、今後いろいろ変わるということなら、それはそれでいいんですが。多分、今ある駅舎、前はあそこ、人がいて、だから、それこそ案内所というか宿泊で、そこは全然使われてない状態で、一つは駅舎になってる。だから、使われてない部分があるので、トイレ機能も含めて改修する。だから、今ある、外から見た駅舎自身の大きさは、基本的には同じような感じ。別な言い方すると、今あるトイレは更地になる、そういうふうなことで考えているということでしょうか。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 今、委員がおっしゃったとおりです。ただ若干、今、宿泊で使っていたところよりはトイレの規模感のほうが大きいと思いますので、既存のトイレ部分は更地になりますけども、今見えてる駅舎よりは若干は大き見せするかなというふうに思っております。

○塚田分科会長 土光委員。

○土光委員 これから改修しようとする駅舎の機能としては、まず、当然トイレ、それから待合室は最低あるだろうと思うのですが、それ以外の、例えば建物の機能、例えば案内所的なもの、それから、ちょっと人がくつろげるような場所とか。つまり、もともと駅舎の改修は、米子市としても淀江地区の一つの拠点、観光の拠点、そういった視点で考えていきたいというふうに言われてたと思うので、だから、改修後の駅舎の機能としてどういうものを入れるか、それはこれからの検討だと言うんだったら、それはそれでいいんですが、そういったとき、もし、これからの検討だとすると、駅舎改修に当たって、例えば、淀江地区の地元の人の要望を聞く場を設けるとか、議会に報告して議会の意見を聞くとか、そういうことはされる予定ありますか。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 まず、この駅舎の機能につきましては、基本線としては、待合プラストイレということで考えております。これまで議会のほうでも説明させていただきましたが、機能はそれを基本としつつも、当然、淀江町の観光の入り口であります、拠点でございますし、どんぐりコロコロも乗り入れているという、そこら辺の状況も鑑みまして、そこをいかに利活用していくんだという視点で、地域の方にも御意見を伺いながら進めたいと考えております。

これまでの状況なんですけども、今、淀江駅の利用されているユーザーさんというのが、通学生がすごく多いという実態、通勤、通学が多いという実態から、学生さんには、実はアンケートをさせてもらって、どのような駅を望まれるかどうかということでアンケートをさせてもらいました。あとは、公民館のほうも、3地区の公民館ですね、淀江、宇田川、大和ということで、回らせてもらって御意見は伺ってきたりしております。今後、具体的にどのような利活用するかというのは、地域のほうで、まちづくり協議会などの組織もございますし、観光関連の企業さんもございますので、そこら辺からヒアリングしながら、よく御意見を伺いながら、利活用策については検討していきたいというふうに考えております。

○塚田分科会長 土光委員。

○土光委員 基本的に駅舎なので、トイレ、待合室は必須なもので、あと、今の答弁でも、いかに観光の拠点として利活用するかという視点で、利用者、主に学生さんなんかの利用者とか、それから地元の意見、公民館で、まちづくり協議会とかあるので、そんなのをちゃんと聞いて、せっかくの改修というか、そういう機会でそういうものをできるだけ、何せ土地は広いので、できるだけ取り入れていただきたい。それから、議会にも、そういう中間報告的なことはぜひしていただきたいというふうに思います。

それから、ちょっとついでで質問ですが、駅舎の前の駐車場と、左っ側に自転車の駐輪場があるんですが、あれは市の土地ですか。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 駐輪場の土地は、鳥取県の土地も一部あったと認識しております。駐輪場については、市のほうで管理をしているという状況でございます。

○塚田分科会長 土光委員。補正予算についてですが、大丈夫でしょうか。

○土光委員 ついでだから、これでやめます。

とにかく、駐車場として使ってるのか、駐輪場、あれがどこの土地かというのを、すぐ分からなければそれでいいです。それを聞きたいということです。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 すみません、ちょっと、今日は資料を持ち合わせておりませんので、申し訳ございません。

○塚田分科会長 ほかにございませんか。

奥岩委員。

○奥岩委員 今、淀江駅の質問がかなり多かったんですけど、大枠に関しましては、昨年、今通知を送らせていただいたんですけど、昨年のこの報告にあったところに沿って補正予算がついたということで、設計業務を始められるという理解でよろしいでしょうか。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 今、奥岩委員がおっしゃったとおり、この流れに沿って予算化に向けて提案させてもらったというところでございます。

○塚田分科会長 奥岩委員。

○奥岩委員 その上で今回設計業務上がっておりますんで、当委員会、委員会ごとに専門性を持って、議会ではいろいろと審査、議論をさせていただいてるんですけど、その上で、当委員会は当該地区の出身の議員さんもお二方おられますし、いろいろ、今後、未来

について御意見もあったかと思しますので、そういったところを踏まえまして設計業務頑張っていただければなと思いますので、よろしくお願いします。以上です。

○塚田分科会長 ほかがございませんか。

〔「なし」と声あり〕

○塚田分科会長 ないようですので、本件については終了いたします。

予算決算委員会総務政策分科会を暫時休憩いたします。

午前 11 時 02 分 休憩

午後 2 時 16 分 再開

○塚田分科会長 予算決算委員会総務政策分科会を再開いたします。

初めに、議案第 54 号、専決処分について（令和 7 年度米子市一般会計補正予算（補正第 1 回））についてを議題といたします。

当局の説明を求めます。

金川財政課長。

○金川財政課長 議案第 54 号、専決処分について（令和 7 年度米子市一般会計補正予算（補正第 1 回））を御説明いたします。

これは、5 月 25 日に鳥取県議会議員米子市選挙区補欠選挙が行われたことに伴うものでして、4 月 22 日付で専決処分したものでございます。

内容につきましては、歳出予算の事業の概要の一般会計専決分により御説明いたします。2 ページをお開きください。

県議会議員選挙としまして、5,840 万 5,000 円を計上しております。これは、選挙事務の執行に必要となる事務経費や会計年度任用職員などの人件費を措置したものでございます。

説明は以上でございます。

○塚田分科会長 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

〔「なし」と声あり〕

○塚田分科会長 ないようですので、本件については終了いたします。

次に、議案第 62 号、令和 7 年度米子市一般会計補正予算（補正第 2 回）のうち総務部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

金川財政課長。

○金川財政課長 議案第 62 号、令和 7 年度米子市一般会計補正予算（補正第 2 回）のうち本分科会に付託されました総務部所管の補正予算について御説明いたします。

歳出予算の事業の概要により説明いたします。19 ページをお開きください。

下の段、少年消防クラブ防災教育事業としまして、16 万円を計上しております。これは自治総合センターの助成事業を活用して、少年消防クラブが防災訓練などの活動を行うために必要なスポットクーラー 2 台を購入するものでございます。

説明は以上でございます。

○塚田分科会長 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

〔「なし」と声あり〕

○塚田分科会長 ないようですので、本件については終了いたします。
予算決算委員会総務政策分科会を暫時休憩いたします。

午後２時１８分 休憩

午後２時３０分 再開

○塚田分科会長 予算決算委員会総務政策分科会を再開いたします。
分科会長報告のための意見の取りまとめを行います。
御意見がありましたら発言をお願いします。

〔「なし」と声あり〕

○塚田分科会長 それでは、特になかった旨報告させていただきます。
以上で予算決算委員会総務政策分科会を閉会いたします。

午後２時３０分 閉会

米子市議会委員会条例第２９条第１項の規定により署名する。

予算決算委員会総務政策分科会長 塚 田 佳 充